

# ぬくもり

編集と発行 人権啓発ネットワーク大東  
〒574-8555 大阪府大東市谷川1丁目1番1号  
電話 072-870-0441 FAX072-872-2268

2024 ヒューマンコンサート

2/10 大東市立総合文化センター  
(サーティホール)多目的小ホール

手話と歌で笑顔になろう

サイン シング スマイル

## Sign! Sing!! Smile!!!

～心のボーダレスをめざして～

今年は、観客の人数制限を設けない中での開催となりましたが、100名を超えてのご来場で、会場はほぼ満席となりました。開演からyokko(ヨッコ)さんの優しくも力強い歌声と、手話パフォーマンスに引き込まれていました。

yokkoさんは、一時期自身の声が出なくなったときに通った手話教室の先生から、「私は、耳が不自由で聞こえないけれども音楽が好きで、歌い手の表情や口の動き、観客の表情、そして、ステージの光の加減等を見て音楽を楽しんでいる。」というお話を聞き、お世話になった大好きな先生や、一人でも多くの身体の不自由な人に私の歌を聞いてもらいたい、知ってもらいたい、そして、見て楽しんでもらいたいという思いから今の手話を交えた歌い方にしました。

中盤では、観客の皆さんに手話をお伝えし、一緒に手話をしながら歌うことになりましたが、手話だけでなく「そこで笑顔!」という、表情の指示まで受けて、「ああ、これが見て楽しむということなのかな。」と感じ、そこからは歌詞だけでなく、表情も見るように意識しながら聞き入りました。観客の皆様も慣れないながらも、懸命に、そして、楽しそうに手話をしながら歌っていました。

yokkoさんは、2025年に滋賀で開催される『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』のイメージソング「シャイン!!」の作詞・作曲・歌唱を担当されるそうです。今後ますます、今日のコンサートで見せていただいたような明るく元気な歌声と手話で、大会を盛り上げていただきたいと思いました。



懸命に、そして、楽しそうに手話をしながら歌っていました。

yokkoさんは、2025年に滋賀で開催される『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』のイメージソング「シャイン!!」の作詞・作曲・歌唱を担当されるそうです。今後ますます、今日のコンサートで見せていただいたような明るく元気な歌声と手話で、大会を盛り上げていただきたいと思いました。

およそ2時間のコンサートでしたが、あっという間に終わり、手話の世界を知り、聴いて、見て、楽しむことができ、最後はとてもおだやかな気分になりました。帰りには皆さん、より一層笑顔になっていました。

(レポーター:ま~ちゃん)



けんぽう  
憲法週間記念のつどい

5/10 大東市立総合文化センター  
(サーティホール) 大ホール

お笑い

お せ

じんけん寄席

かみがたらくこ  
～上方落語 人権・平和カルテット揃い踏み!～  
そろ ぶ



開場前からロビーに長蛇の列ができたため、急遽開場時間を繰り上げ、963名の市民で満員となりました。舞台やテレビ等で活躍されている4名の落語家さんのお話が、とても心に残る内容でしたので、少しでもお伝えしたいと思います。



露の新治さんは、笑う門には「福来る」ではなく、「福来てる」だと話されました。「笑う」ことができる状態というのは、あたりまえではなく、「いのち」と「くらし」が穏やかに落ち着いていればこそであり、それはすでに幸せの中にあるのだと。

また、血筋のような根拠のないことや、肌の色や国籍など本人が選びようのないものを理由に不当に相手の価値を低く扱うことが差別であること、差別には「される差別」と「する差別」、そして、コンプレックスから自分にレッテルを貼るような「自ら被る差別」があるというお話が印象に残りました。

笑福亭鶴笑さんは、「しあわせなら手を叩こう」の歌に合わせて観客を巻き込み体を動かした後、パペット落語「ゴジラVSモスラ」を披露されました。映画「ゴジラ」の生まれた背景、昭和29年ビキニ環礁で行われた水素爆弾の実験によって、マグロ漁船の乗組員が被曝した事件や、今も世界で続く戦争に触れ、「戦争で死んでもいい命」と、「戦争で死んだらあかん命」と命の価値に差がつけられていることについて、大小たくさんのパペットを全身で操り伝えていただきました。



露の団姫さんは、落語家であり、天台宗の僧侶でもあるそうで、仏教の教えを親しみやすくお話されました。「平等=全ての命がありのまま大切」という考え方を説いたのは、お釈迦様が世界初なのだそうです。仏教用語の「差別」は「しゃべつ」と読み、意味は「区別」であり、ものごとそのものの違いを表しています。では、「差別」は何かというと、「区別」をもとに不当に低く取り扱うことです。相手との「区別」をもとに、必要なお手伝いをすることや、生きやすさにつなげることが大切だというお話で、「障害者差別解消法」の合理的配慮とは、こんなにシンプルなことだったのかという気付きがありました。

トリは桂文福さんで、相撲甚句と河内音頭に乘せて、相撲界の外国人力士に対する不当な扱いがあったことや、童謡詩人金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」の詩の紹介がありました。文福師匠が障がい者施設で落語をした際に拍手が起こらず、いろいろな物音が聞こえる。(うけなかった、失敗した。)とっていたが、それは、手に障

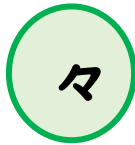
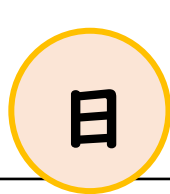




し、平和と人権について楽しく考える素晴らしい時間となりました。

がいがあり、拍手の出来ない方々が、拍手の代わりに出せる音  
を懸命に出されていたという経験談等を歌いあげられました。そ  
れぞれの場面が映像として見えるような圧巻のパフォーマンスで  
した。舞台では、たくさんの踊り手さんの輪がくるくると回り、太鼓  
や三味線、エレキギターの演奏と文福師匠の歌声で会場が一  
体となり、「ああ、サーティホールに福来てる!」と笑いの力を実感

(レポーター:さざ浜)



## 大東市人権行政基本方針ご一読のすすめ

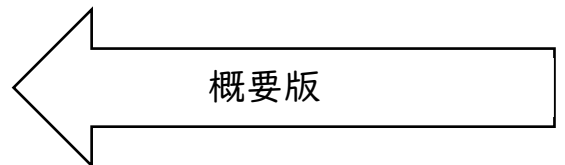
みなさんは“人権”と聞くと、何を想像しますか。私は過去の人権教育から「女性の人権」や「障がい者の人権」「部落差別(同和問題)」、そして「外国人の人権」などのイメージを持っていました。

ところが最近では、上記に加えて「子どもの人権」や「高齢者の人権」「感染症等に関連する偏見や差別」「インターネット上の人権侵害」「性的指向及び性自認を理由とする偏見や差別」などが問題となっております。そして、それらに対する取り組みが実施されています。その他の人権問題として「ハラスメント」「災害に起因する人権問題」「病気に対する本人や家族に対する偏見や差別」等々、本当に多岐にわたっています。

これらの問題を取り上げて、すべての人の人権を大切にするために、『大東市人権行政基本方針』が

掲げられています。以前の内容に改訂がなされて、2023(令和5)年3月に発行されました。内容は、基本的な方針や考え方、現状や取り組みの概要、人権行政の推進などが記載されています。コンパクトにまとめられた概要版も出ています。

新たな知識が得られると思いますので、是非とも一読をおすすめします。



(レポーター:ぬくもりタックス)

# いわさきちひろ 平和パネル展

第 41 回 人権パネル展  
のぎまのんかいかん  
5/1~4 野崎観音会館



今年も「のぎまいり」の期間にあわせて人権パネル展が行われました。没後50年となる絵本作家、いわさきちひろさん。その名前を知らない人でも、かわいい子どもや花の絵を目にした人は多いのではないのでしょうか。パネル展では戦火の中の子どもたちがつづった文章とともに描かれたモノクロの絵が展示され、大東市の図書館から運ばれた絵本を手にとることもできました。さまざま

な年代の 1,595 人もの方々が期間中に訪れました。ちひろさんの絵に込められた子どもたちへの思いや平和への願いをそれぞれに感じ取ったことでしょう。

(レポーター:かわかず)



## コラム



「がんちゃんのありがとう通信」から今朝の出勤途上のことです。駅前の歩道橋の階段を、杖を片手に掃除をされている年配のご婦人に会いました。それも、階段の隅にこびりついているゴミを、用具を使って丁寧に取っておられました。「ありがとうございます。」とお声かけしました。さわやかな朝でした。感謝。

## ★ 会員募集

人権意識をたかめるための研修会などへの参加・参画。  
人権尊重の理念を広く市民に広げるための啓発・広報活動など。会費等はありません。

## ★ ヒューマンライター募集

大東市で人権推進につながる取り組みを行っている方々の取材をしていただける方（ヒューマンライター）を募集します。



【応募方法】様式は問いません。

ご住所 お名前 電話番号を記載の上 郵送、FAX でお願ひします。

〒574-8555 大東市谷川1-1-1

大東市役所 (市民生活部 人権室内)

人権啓発ネットワーク大東事務局

TEL: 072-870-0441

FAX: 072-872-2268

## Facebook(フェイスブック)

人権啓発ネットワーク大東の活動がみなさんに届くよう、Facebook ページを開設しました！ぜひ、フォローお願いします！

(Facebook で「人権啓発ネットワーク大東」を検索！⇒)

